



事業紹介 港湾

中部の暮らしを支える港湾

富士山とコンテナ船(清水港)



眠らない港(四日市港)

事業紹介
港湾



コンテナ船の岸壁着岸(名古屋港)



コンテナの吊り上げ(名古屋港)

現在ではコンテナに入らない品物はないと言われるほどコンテナには食品(水産物、加工品)、機械部品、衣料品、紙・パルプなどが入り、コンテナによる輸送は、私達の豊かな暮らしを支える上で、必要不可欠なものとなっています。



名古屋港に入港したマリナー・オブ・ザ・シーズ



清水港に入港したスーパースター・ヴァーゴ

クルーズ船で訪れる外国人は年々増加しており、中部地域においても年間約60隻程度のクルーズ船が寄港しております。世界最大級のクルーズ船は一度に4000人以上の乗客を運ぶことができ、乗客が寄港地周辺の地域観光、食事、買い物をする事で地域経済の活性化に貢献しています。



防波堤(清水港)

台風・高潮から港を守り、一年を通じて荷物の積み卸しを円滑に行うため、防波堤の整備を進めています。 ※ケーソンとは、防波堤や岸壁をつくる際に使われる鉄筋コンクリートでできた箱のことです。



ケーソン据付(三河港)



自動車運搬船への積み込み(名古屋港)



鋼管杭打設(名古屋港)

大型化するコンテナ船、完成自動車を輸出する運搬船や大型クルーズ船に対応した岸壁の整備を進めています。



海岸堤防の改良(津松阪港)

昭和34年の伊勢湾台風後に整備された海岸堤防が老朽化しているため、海岸堤防の整備を進めています。



四日市・いなばポートラインの整備

コンテナにより運ばれた品物を消費地へと円滑に輸送するための臨港道路を整備しています。



平成11年度入省
(土木)
名古屋港湾空港
技術調査事務所 係長
高須 貴子さん

私は、「海の世界に携わりたい」と思い入局しました。今は、港湾施設に関する技術開発や伊勢湾に浮遊する流木等を回収するための海洋レーダを用いた流況観測に携わっています。業務の中では専門外の電波や電子機器等の知識も必要となりますが、新たな分野に従事できることは一番の魅力であり、やりがいを感じています。

また、この事務所では、巨大な伊勢湾模型を使った模擬津波実験などの見学ができます。夏には見学会を開催しており、私の子供はこれに参加したことで私の仕事や働く環境を理解してくれるようになりました。

私は入局当初、育児休暇を3度も取るとは想像もしていませんでしたが、職場には理解ある上司や同僚がおり、安心して仕事に取り組めます。



平成15年度入省
(土木)
三河港湾事務所
企画調整課 係長
森下 倫明さん

私は、現在、愛知県にある三河港や衣浦港の将来計画に関する仕事に携わっています。私がクリクルート活動をしているときに、日本に輸出入される貨物の99.7%は港を利用していることを知り、是非、「ものづくり中部」の経済活動や生活を支える港湾のインフラ整備に関わりたいという思いから、中部地方整備局への入局を希望しました。

入局後は、神奈川県にある国土技術政策総合研究所に向かい、港湾整備に関する新たな設計手法の研究に携わりました。また、東京都にある国土交通本省でも全国港湾の新規事業や予算に関する仕事をしました。

中部地方整備局の仕事は多岐にわたり、とても大きな仕事に携わることが出来ます。また、様々な業務を通じて自分のスキルを伸ばすことが出来るので、非常にやりがいを感じられる職場です。

事業紹介
港湾